

元吉町 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりを考えていくため、「元吉町まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始しました。「元吉町まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

Vol. 8

2016年(平成28)1月

発行：元吉町まちづくり部

TEL：090-1918-4249(富田)

部の活動に関するご意見・ご質問がありましたら、ぜひご連絡下さい。

第14回意見交換会のご案内

景観づくり協議会設立準備

まちづくりコーディネーターを交えて今後の方針を考えます。

【日時】2016年**1月12日(火)**午後**1時30分**~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

元吉町に限らず祇園新橋地区の皆さまのご参加お待ちしております！

取組

辰巳大明神の迎春準備

明けましておめでとうございます、まちづくり部部長の富田です。
今年は昨年の活動をベースにより多くの皆様のご参加を目指しておりますので、よろしくお願いたします m(_ _)m

2015年の最後の取組となるしめ縄飾りを12月27日(日)朝より行いました。

毎年行われている辰巳大明神の鳥居に架かるしめ縄の新調を今年からまちづくり部の活動の一環として有志で行いました。

また、同時に祠を飾る幕も季節にあわせて赤色の幕に替えました。



新しいしめ縄で迎春準備完了です。



最大7寸もあるその太さに比べて重くなるのですが、それでも3人掛かり。



赤色の幕もそろそろ新調の時期が来ているようです(^^)。

取組

景観づくり協議会発足準備



景観づくり協議会の発足に向けて、まちづくりコーディネーターであるNPO 京都景観フォーラムの森川氏との打ち合わせを12月21日(月)にひと・まち交流館にて行いました。

まちづくり部のこれまでの活動や積み重ねてきた意見交換会の内容、また地域の課題を考慮し、景観づくり協議会発足を目指すことでまとまりました。

まちづくり部では、いままでの活動に加えて、景観づくり協議会発足に向けて具体的に取り組んでいきます。

第13回意見交換会では、景観づくり協議会についての勉強会をおこないました。

景観づくり協議会は外からの規制ではなく、内からの対話や高い意識によってまちづくりを進めていくのが大きな特徴となっています。

祇園新橋の美しい景観も、誰かが作ったものではなく、地域の人々が自らの手で育ててきたものであり、その良さを継承していける手段として期待できるものでした。

地域としての課題として、まずは組織づくりからとなりますが、まちづくり部をベースにすすめていければと考えております。



12月8日(火)「登希代の2かい」にて。
参加者は13名でした。

【議事録メモ】

地域景観づくり協議会でできること。

Q:地域景観づくり協議会とは？

- ・景観に関する活動をしている地域組織を市長が認定するもので、京都市の独自の条例です。
 - ・地域組織の形態・規模は、学区や町内会などさまざまです。
 - ・認定された地域内では、建築を行う場合、事業者は協議会と事前に「意見交換」することが義務付けられていますが、ルールを定めて強制させるものではありません。
- ◎工事を始めてから、地域と建築主の間に思惑の違いがあっても後戻りできないので、工事が始まる前に、地域のまちづくりの方針を伝えることができる制度です。

Q:地域景観づくり協議会の取組みを進めるために必要なことは？

- ・地域景観づくり協議会（組織）の認定です。活動の主な目的が景観づくりで、特定の個人ではなく、地域で意思決定された組織をつくることなどの条件が必要です。
 - ・地域景観づくり計画書（方針）の認定も必要です。地域の景観づくりの方針、目指すまちの姿を計画書にまとめます。地域の思い・方針を目に見える形で提示しておくことで、建築主・事業者に伝えやすくなるからです。
- ◎協議会や計画書が認定されてもそこで終わりではなく、実際に意見交換し、日程調整や専門的な受け答えも必要になってくるので、認定を受けてからが大変な制度とも言えます。

Q:意見交換しても合意に至らなかったらどうなるの？

- ・意見交換で合意がなくても、建築基準に合っていれば、市は認めなければならなりませんので、合意に至らないまま工事に入ってしまうこともあります。
- ◎必要なのは合意ではなく、意見交換なので、1回の意見交換で合意に至らなくても物別れではなく、継続して意見交換することができます。桂坂では、コンビニ・ドラッグストアの出店に関して、半年以上かけて6回ほど意見交換を重ね、地域に見合ったもので決着した例もあります。

Q:元吉町に類似した地域で景観づくり協議会の取組みを行っているところは？

- ・清水の一念坂・二寧坂（桝屋町）と先斗町で取り組んでいます。
- ・桝屋町の取組は歴史が長く、観光客が多い地域の特徴や、ゴミ問題など、元吉町と同じような課題から出発しているので参考になると思います。計画書はHPからも見られるのでご覧ください。
- ・両地域とも、景観づくり協議会とともに、まちを美しく守るための自主的な取組を継続し、地域景観の向上に努めています。